



# 森ボラ 通信

第112号 2011年9月20日発行 NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel.(fax): (011) 816 - 7010

E-mail: [hshinrinv2002@nifty.com](mailto:hshinrinv2002@nifty.com)

## ■ トピックス

### ◆ 2011年度・研修旅行報告(参加者22名)

日程；一泊二日(8月30日～31日)  
研修地；・東京大学北海道演習林(富良野市)  
・安藤山林緑化(有)苗畑(中富良野町)  
参加数；22名(内1名は富良野市で合流)

新札幌から6台の車に分乗し途中、桂沢湖、岩盤の階段を流れる三段の滝を楽しみ、「ハイランドふらの」(今日の宿泊地)で昼食、午後には東大の麓郷の森林資料館に集合しました。

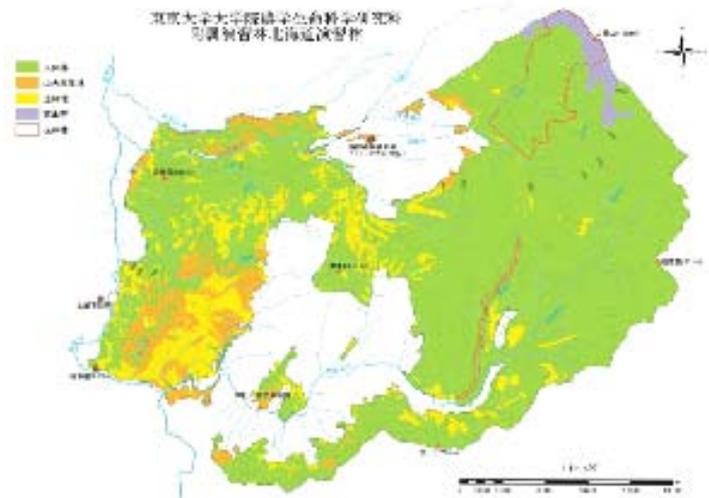
オリエンテーションで、森に入る心得、そして「林分施業法(りんぶんせぎょうほう)」と言う初めての言葉を耳にしました。「林分施業法」は北海道演習林の家訓との事です。森林は環境保全の公益機能と、木材生産の経済機能を合わせ持っており、正しい森林管理(6原則は省略)を行えば森林のライフサイクルが少し早まり、成長の早まった分を伐採し、木材資源として人間が利用する考え方です。

早速、指導教官(井口主任、松井技官)に先導されて研修地入り。30日は麓郷側、前山保存林の原生林で樹齢200年を超える

巨木、次の世代を担おうと倒木の幹に競うように育つ多数の若木を観ることが出来た。また、土砂を採取した跡地には天然更新したエゾマツの見事な群生地があり、自然の生命力を実感しました。一方、帯状皆伐地は私が良く眼にする、地ごしらえした植林の姿に見えたが、ここは人手による植林と、適度な間隔(50m程)に保たれた両側の森林からの天然更新を期待する新たな実験地との事です。ここでの松井技官の心配と期待の交錯する説明が印象的でした。

31日は西達布側で「林分施業法」の見本でもある、択伐による伐採で森林を成長させている択伐施業地に入りました(写真)。ここには切り株があり確かに伐採の痕跡はあるものの、多数の小中径木の存在が伐採した事を感じさせません。まさに「林分施業法」の実態を目で確認できる所です。

エゾシカ食害地には農家の苦情に応えた、高い防護柵はあるが、柵内に食害の痕跡は無く、冬場の餌(演習林内でのシカは食分施業法?)の確保は?そして東大冠のミネラルウォーター販売を提案した湧き水を見学して午前の研修を終了しました。森林の環境は標高、斜面の向き、地質等によって大きく異なるため、想定した結果も容易に得られず、困難にも直面しているようです。それを克服しようと新しい事に挑み続ける姿勢に声援を送りたいと思います。午後は安藤山林緑化(有)で、スーパーF1挿し木技術による苗木作り、夏場のハウス内(湿度100%、温度30℃)作業の苦労話、



植林予定の苗畑、直営の「森のガーデン美術館」をご好意で見学させて頂きました。今回の研修旅行は、それぞれその分野のリーダ的な専門家が、長い時間と労力をつぎ込み得た成果を、その現場で、実態を見ながら研修する大変に有意義な体験でした。

最後に、広大な演習林を少人数できめ細かく管理し、先進的な取組みをしている井口主任と松井技官、画期的な挿し木技術の商用化に挑んでいる安藤山林緑化の4代目安藤さん、それぞれ忙しい仕事の中、我々の研修に時間を割き、雨あられの質問にも丁寧な応答を頂き有難うございました。

また、幹事の和田さん、樫棒さんには、昼食の弁当調達、農産物の買出しの案内、偶然とは言えクマとのニアミスを含め、研修と旅行が一体になった収穫の多い研修旅行を有難うございます、心より感謝致します。(記・田山)

## ■ 現場より

### ◆ 活動報告：当別の草刈り

(8月27日(土)高野・和田・大窪・小笠原・吉本・田山・加藤・酒井)

この活動地は外来植物の展示場と化してしまいました。

数年前に活動を始めた頃はここに来て秋の植栽時期には北米原産といわれるキクイモを掘って持ち帰り味噌漬けにして食べたりしていましたが今や大変なことになってきました。

セイタカアワダチソウが来ていることは知っていましたが下流からの近道に入ると植栽地はまっ黄色な花畑と化してしまいました。一面が環境省指定特定外来生物のオオハンゴンソウとセイタカアワダチソウの草原です。もはや引き抜き除去などの段階ではありません。ここはもともとが田んぼでしたから植栽木の周りに生えている草も日本の郷土種ではないのかもしれない。ところどころに株だっている在来のススキが元気をなくしているように見えます。

セイタカアワダチソウは自身からのアレロパシーによる自家中毒で退化しつつあるとも聞きますがそんな感じには見えません。2メートルを越す背丈の外来雑草の草刈りは体も神経も疲れました。植えた木を早く育てて暗い森にすればこれらの外来種は退化してなくなることを信じて活動を続けたいと思います。(記・酒井)



### ◆ 活動報告：幌南の森・巣箱メンテナンス (8月25日(木)参加者10名)

8月25日(木)。朝から雨でした。不思議に幌南の森の日は雨になることがこれまでもありました。小雨の中6年生と5年生の子供たちのバスがスキー場駐車場に到着。全員雨装備で雨天決行の決意が伝わりました。雨は小降りになってきた中で、サポートをする当協会メンバーと子供たちの挨拶を交わしました。

5年生は紙ネッコ植樹メンテで直登。我々は参加者を班分けして6年生の巣箱メンテをサポートしました。

出発前に小鳥の巣箱について、その目的、機能、利用する鳥たち。掃除の仕方。修理の仕方。架け替えのやり方などを説明しました。4班に分けて歩道の上からと下部からの2班づつが攻めました。既設の巣箱を全て降ろして点検し、新規分30個と合わせて掛けなおすので時間はかかりましたが、予定どおり午前中に終了しました。ただ、使用率は澄川の経験値よりも良くない気がしました。記録を取っていませんので感想です。(記・高野)



## ◆ 新規事業・「CGC 烏柵舞の森」 森づくり事業調印なる

9月5日(月) 株式会社北海道CGC(横山社長)と石狩森林管理署(山本署長)は支笏湖国有林5334林班(22.72ha)の育林開発に関して協定書を交わし、当協会は覚書を交わしました。

愛称は“CGC 烏柵舞(うさくま)の森”に決定。現地は、より千歳市に近くなります。本格的な植栽活動は来春からになります。現行“CGCの森”ともども宜しくお願いいたします。(事務局)



## ■ ひとこま

### ◆ 万葉集の草木 (3) 「月草 (つゆくさ)」

万葉集(巻第十 2281)に次のような歌があります。

「朝露に咲きすさびたる月草の日くたつなへに消ぬべく思ほゆ」

「秋相聞」の「花に寄する」の項に並ぶ歌の一つです。「月草」はツユクサの古名、「すさぶ」は「勢いのままに盛んに…する」、「くたつ」は「時とともに衰える、日が傾く」。口語訳すれば「朝露の中で勢いのままに咲き乱れる露草が日盛りを過ぎて萎れてしまうように、夕暮れが訪れるにつれて消えてしまいたく思われます」といったところでしょうか。「朝露に」から「月草の」までは「日くたつなへに」以下を呼び起こす序詞になっています。



現在でもツユクサの仲間の花の汁が友禅の下絵に使われますが、万葉人はこの花を青色の染料として布に摺りつけ、摺り染めをしました。その色は水に溶けて簡単に落ちてしまうため、移ろう心の譬えにしばしば用いられました。またこの歌にあるように、朝咲いてお昼過ぎには萎れてしまうことから、儚い命の象徴としても詠われています。ツユクサ科の他の花と同じく3枚の花弁を持っていますが、蕊の後ろに隠れている1枚の白い小さな花びらはあまり目立たず、向かい合う2枚の青い花びらから遠目に青い小さな蝶のようにも見えます。私は昔からこの花が好きだったので、迂闊にも大人になるまでその生態を詳しくは知りませんでした。札幌に移り住んでからのある午後、写生がしたくなって記憶を頼りに以前ツユクサを見た場所に行ってみたところ、見る影もなくクシヤクシヤになった花びらに、花の季節が終わってしまったものと早合点してがっかりしたものです。

「べく」という言葉に表される強い意志を持って「日が傾く頃には消えてしまいたい」と願う出典未詳のこの歌からは、恋の切なさが伝わります。余談ですが、最近いつの間にか万葉人に感化されて、誰かにファーストネームを改めて尋ねられると、何となく答えるのが躊躇わられてはぐらかしてしまう自分に気づきました。この平成の世におかしいですね。古来特別な呪力を持つとされ、特に女人にとっては家族や恋人以外にやたらと知らせるものではなかったという名前。この歌の主は果たして思う相手と名を明かし合う瞬間を持てたのか、気になります。(記・深町)



※会員の高野さんの作品を挿絵に使わせていただきました。ありがとうございます。

## ■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・酒井・高野・津金・釣井・西野(梯)・矢澤・和田

審議および決定事項

- 1 10月作業スケジュール
- 2 新事業“CGC鳥<sup>うさくまい</sup>柵舞の森”森づくり調印について(※詳細別頁)
- 3 ローソン社員による澄川野外研修の対応について
- 4 第二回理事会9月26日の検討
- 5 ぶんぶんの森植樹祭の対応と役割分担の確認
- 6 委員会報告 広報委員会 (HP, パンフ他) 業務委員会 (作業計画他)  
助成委員会 (花王助検討応他) 研修・企画委員会 (冬期セミナー検討)
- 7 その他 ①年会費未納者への対応。第4回、第5回ステップ・アップ研修の対応。  
②忘年会の件。

## ◆富士ゼロックス端数倶楽部様、(株)富士ゼロックス様からご寄付を戴きました。

森林育成と子供達への自然学習の橋渡しのために活用させていただきます。

## ■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
8月18日(木)	CGCの森	9	下草刈り
8月19日(金)	CGCの森	9	下草刈り
8月22日(月)	藻岩山	5	倒木処理
8月23日(火)	リンゴ	6	葉摘み
8月24日(水)	コンサの森/道民の森	6/4	下草刈り/ステップ・アップ研修
8月25日(木)	藻岩山	10	幌南小学校6年生巣箱整備
8月26日(金)	リンゴ	6	袋外し・葉摘み
8月27日(土)	当別(オイスカの森)	8	下草刈り
8月30日(火)	富良野・東大演習林	22	研修旅行
8月31日(水)	富良野・安藤山林緑化	22	研修旅行
9月1日(木)	リンゴ	6	袋外し・葉摘み
9月2日(金)	藻岩山	-	雨天中止
9月5日(月)	当別(フクロウの森)	4	札幌工科専門学校間伐実習
9月6日(火)	リンゴ	0	雨天中止
9月8日(木)	リンゴ	6	袋外し・葉摘み
9月9日(金)	リンゴ	5	袋外し・葉摘み
9月10日(土)	澄川/元町児童会館	13/4	樹木園整備/森の積木広場
9月12日(月)	ラルズビル	10	幹事会
9月13日(火)	当別(フクロウの森)	3	札幌工科専門学校間伐実習
9月14日(水)	有明/澄川	7/4	笹刈理・倒木処理/看板作製
9月15日(木)	リンゴ	9	袋外し・葉摘み